

Arai Kōtarō

"11

yushutsu menshokubutsu  
shuchō hōkoku

布袋組事業  
輸出綿織物取調報告  
擴張ニ關スル





000001

677  
.A66

Araki Kōtarō

yushutsu menshokubutsu  
shuchō hōkoku.

布袋組事業  
擴張ニ關スル  
輸出綿織物取調報告





611  
H66  
輸出綿織物視察報告

今回東京布袋組ノ依囑ヲ受ケ輸出綿織物ニ就キ取調ヲナシタリ今其概況ヲ報告セ  
ントス

布袋組ハ專賣特許品ナル郵便行囊及各種ノ袋類ヲ製織スルヲ業トシ來リシガ現時  
ノ狀勢ニ鑑ミ其副業トシテ輸出綿織物ヲ計畫セントスルノ希望ナルヲ以テ左記三  
項ヲ此調査大體ノ方針トセリ

第一 如何ナル織物ヲ製造スルヲ適當トスルヤ

第二 如何ナル組織ヲ以テ經營スベキヤ

第三 事業ヲ經營スルニ當リ如何ナル方法ヲ取ルベキヤ

以上ノ三件ヲ解決シ得バ事業經營ノ方針ヲ定ムルコトヲ得ベク將來ノ發展ヲ豫測  
シ得ベシト信ゼリ然レドモ極メテ短時日ノ視察元ヨリ充分ノ取調ヲ爲ス能ハザリ  
シヲ以テ粗漏ノ點アルハ免レ難ク加フルニ匆卒ノ執筆文、意ノアル所ヲ悉シ能ハザ  
ルハ大ニ遺憾トスル所ナリ

第一、如何ナル織物ヲ製造スルヲ適當トスルヤ



輸出織物現下ノ狀況　平和克復以來我綿織物業者ハ爭フテ視察員ヲ滿韓地方ニ馳セ或ハ各自ノ見本ヲ携ヘ或ハ製造シタル織物ヲ提ケ踵ヲ接シテ同地ニ向ヘリ而シテ其齎シ來リシ意見各一ナラズ隨テ其經營スル所モ異ナリト雖モ彼ノ嗜好ニ投ズルガ如キ製品ヲ均一ニシ廉價ニ製出スル事ヲ得バ其需要ハ實ニ無限ナリトスルノ說ハ一致スルモノ、如シ此ニ於テ大阪地方ニ於テハ紡績會社ノ聯合成立シ品質一様ナル織物ヲ廉價ニ輸出シ英米品ト競爭ヲ開始スルアリ濱松名古屋地方ニ於テハ尺二木綿大輸出ノ計畫アリ尺一巾以上ノ白木綿ハ關西地方至ル所幾分ノ製作ヲ企圖セザルハナク、タオル、綿ネル、綿縮ミ、絹綿交織其他各種ノ織物皆滿韓輸出ノ萌芽ヲ呈セザルハナシ、斯ル趨勢ナルヲ以テ今後一ケ年ヲ經過セバ其產額モ著シキ増加ヲ來シ近來稀ニ見ルノ盛況ヲ現出スルニ至ルベシ

斯ノ如キ時勢ニ遭遇シテ輸出織物ヲ計畫スルニ當リテ徒ラニ他所ノ製品ニ模倣シタルモノヲ作り出シ内地ニ於テ競爭スルガ如キハ策ノ得タルモノニ非ルノミナラズ必ズヤ共ニ倒ル、ノ苦難ヲ生ズベシ然ラバ如何ナル種類ノ織物ヲ製造スルヲ可トスルヤ之レ第一ニ起ルトコロノ問題ナリ之ヲ選定スルニハ大凡左ニ示ス要件ニ合着スルモノナラザル可ラズ



# イ、一種特得ノ織物タルベキコト

此要件ハ今更説明ヲ要セザレドモ如何ナル製品ニテモ其製造ニ特得ノ箇處ヲ有セザレバ其名聲ヲ舉ゲ難ク他ヨリ模擬セラル、コトモ亦容易ナリ織物ニ於テハ其原料ノ選擇法製造ノ方法或ハ整理ノ方法何レカ一ノ特點ヲ有スルノ必要アリ假令バ他ニテハ手織ヲ以テ製作スルモノヲ機械ヲ以テ製造スルトセバ單ニ之ノミニテモ一種特得ノモノトナルベキナリ故ニ今織物ヲ選出セントスルニ當リテハ他ニ多ク產出セザルモノヲ選ミ之ニ或ル特色ヲ生ゼシメ他ヨリ模倣セラル、ヲ防グヲ必要トス

## ロ、工費ヲ多ク吸收シ得ル織物ナルコト

織物業ノ最大目的ハ供給セラレタル原料ニ加工シ織物トナシ之ヲ市販ニ供スルモノナルヲ以テ多クノ工費ヲ得レバ其業ノ利益モ亦從テ多カルベシ綿織物ヲ製造スルニ當リ紡績所ヨリ供給セラレタル原糸ヲ直チニ製織シテ織物トナスモノ、如キ其利益概シテ少ナク精練漂白染色ノ工程ヲ經タル原料ヲ用キ織物ヲ作り之ニ整理ノ工ヲ加ヘテ市販品トナサバ工費モ倍加スルト同時ニ利益モ亦多カルベシ假令バ白木綿ノ如キ紡績糸ヲ直チニ機臺ニ上セ織物トナシタルモノト木綿縮ノ如ク原糸



ヲ精練漂白シ經糸ハ之ヲ染色シ縞ヲ作り或ハ無地ニ染メ緯糸トナスベキモノハ之ニ撚ヲ施シ織上ゲタル後縮皺ヲ生ゼシメ仕上ヲナシタルモノト比較スルトキハ後者ハ工費ノ多キダケ夫レ丈ケ前者ヨリ利益多シ

今其比較ヲ示セバ次ノ如シ

一、白木綿 巾一尺二寸、長五丈、目方五百六十匁

此原料代壹圓四拾錢 賣價壹圓七拾九錢

工費 參拾九錢 之ヨリ織賃消耗品費雜費ヲ引キ大凡貳拾錢ノ利益アリ

一、木綿縮 巾二尺、長二十ヤール、目方五百六十匁

此原料代壹圓六拾壹錢 賣價貳圓八拾五錢

工費壹圓貳拾四錢、之ヨリ漂白賃織賃撚賃仕上賃消耗品費雜費ヲ差引キ約五拾錢ノ利益アリ

ハ、販路ノ廣大ナルモノヲ選ムコト

輸出綿織物ヲ計畫スルニ際シ販路ノ廣大ナルモノヲ選ムベキハ申ス迄モナキコトナリトス而シテ現今輸出地ノ重ナルモノヲ舉グレバ南清地方滿洲朝鮮并ビニ露領浦鹽地方トス南洋諸島、海峽植民地、印度、遠クハ歐米諸國ニ向フモノハ其種類極メテ少ナシトス今織物ヲ選出スルニ當リ其販路ノ以上列記ノ諸國ニ及ボシ得ルモノナ



ルヲ選マザル可ラズ販路廣大ナレバ一朝一方ニ不振ノ狀況ヲ呈スルモ他方ニ活路ヲ發見スルヲ得ベク製造過剩トナルノ恐レ少ナク價格ノ均等ヲ保チ得ルノ利益アリ

## 二、仕事ノ容易ナルモノヲ選ムコト

製造工程ノ繁雜ナルト單純ナルトヲ問ハズ其各部ニ就キテ仕事ノ容易ナルモノヲ選ムコトハ織物業者ノ忘ル可カラザルコトナリ仕事容易ナレバ生産高隨テ多ク職工ノ養成短日月ニシテ終リ製織上瑕疵ヲ生ズルコト少ナク良好ノ製品ヲ作り出スコトヲ得ベシ

## ホ、意匠ヲ施スベキ餘地アルモノヲ選ムコト

同ジ織物ニテモ無地物ヲ織出スヨリ縞物ヲ織出スコト趣味多ク利益大ナリ同様ニ縞物ヨリ模様物ノ方利益多カルベシ加之ヲ織ルノ職工モ趣味ヲ有シ仕事ニ従事スルヲ得ベク從テ倦怠ノ念ヲ生ズルコト少ナシ只僅カニ意匠ヲ加ヘタルモノニテモ之ニ對スル利益アルモノナルヲ以テ若シ需要者ノ嗜好ニ適スルガ如キ考案ヲ施シタルモノヲ製出スルトセバ其利益甚ダ多カルベシ

以上列記スルモノ、外内地ノ需要ニ轉用シ得ルモノ他ノ製作品ノ原料トナルベキ



モノ等ヲ選ムノ必要アルベシト雖モ要スルニ一種特得ノ點アル織物ニシテ其販路廣大ニ工費ヲ得ルコト多ク操業容易ニシテ幾分ノ趣味ヲ有スルモノナラザルベカラズ今各地ヲ視察シテ此等ノ條件ヲシテ稍満足セシムベキ織物トシテ左ノ三種ヲ選出セリ

一、タオル

一、綿ネル

一、木綿縮

以下順次此等ノ織物ニツキ製出ノ狀況ヲ察シ卑見ヲ述ベントス

タオル

タオルハ明治三十年頃ハ僅カニ十八九萬圓ノ輸出品ナリシガ昨年度ニ於テハ優ニ百萬圓ヲ超過スルノ盛況ヲ示スニ至レリ其販路ハ印度支那香港ヲ主トシ他ノ諸外國殊ニ南洋諸島英領殖民地等ニハ今後益々發達ノ見込アリ滿韓地方ハ未ダ多クノ數量ヲ輸サザレドモ好望ノ商品ナラン而シテ其製產地ノ主ナルモノハ泉州地方ニシテ河内播磨之ニ亞グ其原料ハ經ニ二十手緯ニ十二手又ハ十四手ヲ用ユルヲ普通トスレドモ模様モノヲ織ルニハ四十二手又ハ三十二手ノ撚糸ヲ經トス職工一日ノ



織高ハ一打半乃至二打其目方三百七十匁乃至五百匁ナリ一打ノ織賃ハ貳拾錢乃至貳拾五錢織上ゲタル織物ハ四打續キトナシ之ヲ漂白又ハ染色シテ半打續キニ切斷シ輸出品トナス浴巾一枚ノ長サハ二尺四寸乃至二尺八寸巾ハ一尺乃至一尺五寸此内一尺一寸巾ノモノハ主モニ清國向ニシテ其數量最モ多ク尺二以上ノモノハ他ノ外國向ナリ一打ノ生地二百五十匁此代價百匁ニ付貳拾七八錢漂白賃一打ニ付參錢八厘之ニ諸掛リヲ加ヘ一打ノ賣價八拾錢内外トナル

### 綿ネル

綿ネルノ製產地ハ和歌山愛媛德島及京都等トス近來綿ネル生地ト稱スル木綿布和歌山大和河内地方ニ盛ニ製織セラル、コハ皆捺染ネルニ使用セラル、モノトス大體ニ於テ綿ネルノ產額ハ年々増加ニ傾キツ、アリ輸出ノ數量モ時ニ多少ノ消長アリト雖モ亦漸々發達シツ、アリ輸出綿ネルニハ尺六巾十五ヤールモノト二尺巾三十ヤールモノトアリ尺六巾ノモノハ香港支那向ニシテ無地モノ最モ多ク縞物少ナシ二尺巾ノモノハ朝鮮向ニシテ藍棒珍平珍綾等アリ尺六無地物ハ一反ニ付壹圓貳拾錢乃至壹圓七拾錢此内壹圓參拾錢前後ノモノ最モ多ク壹圓五拾錢内外ノモノハ極メテ少量ナリトス尺六巾ノ藍棒ハ其品質壹圓五拾錢乃至壹圓八九拾錢位アレド



モ之レ亦上等ノモノ少ナシ朝鮮向二尺巾ノモノハ藍棒四圓參拾錢乃至四圓七拾錢  
南清行ノ分白無地二尺巾ノモノ四圓六七拾錢ナリ斯ノ如ク支那香港等ニ輸出スル  
モノハ價格安キ品多量ヲ占メ居レドモ之ハ先方ノ嗜好必ズシモ安價ノモノニ向フ  
ニ非ズシテ商人ガ競争上安價ノモノヲ賣込ムニ依ルナリ蓋シ日本品ト云ヘバ安物  
ニ競争シ獨逸英國ノ製品ハ上等ノモノナリマ、我國ヨリ上等品ヲ輸出スルモ同ジ  
價格ナレバ獨英品ヲ求ムルヲ以テ本邦製良好品ハ賣行拂々シカラザルナリ而シテ  
目下最モ利益アルモノ藍棒ニシテ尺六巾二尺巾ノモノナルガ尺六一反ニ付壹圓八  
拾錢内外ニシテ二尺巾ハ四圓五拾錢ナリ之ニ用ユル綿糸ハ上等ハ經ニ二十手緯ニ  
十手十一手十二手ヲ使用シ下等品ハ經ニ十六手緯ニ十四手ヲ使用ス特別上等品ハ  
經糸ニ三十手緯糸ニ八手或ハ經糸ニ二十四手緯糸ニ八手又ハ十手ヲ使用ス良好ノ  
モノハ鐘紡ヲ經トシ攝津合同ヲ緯トシ普通ノモノハ經緯共ニ攝津又ハ合同ヲ用ユ  
一反ノ重量尺六巾五百匁内外二尺巾一貫匁乃至一貫五百匁工女ノ織上高ハ普通品  
二尺巾ノモノ一機三反ニシテ二機乃至三機一反ノ織賃普通ノモノ壹圓綾モノ壹圓  
貳拾錢珍横綾縞ハ杼一挺ヲ増ス毎ニ八錢ヲ増給ス仕上即チ毛搔ハ普通手搔ニシテ  
一ヶ月十七八反乃至二十五反一反ノ起毛賃八錢乃至貳拾錢トス染賃ハ色合ノ濃淡



ニヨリ一定セザレドモ淡色ニテ一九ニ付參拾錢乃至五拾錢濃色ニテ壹圓五拾錢内  
外ナリ今尺六藍棒及二尺巾珍綾ニツキ生産費ヲ計算スレバ左ノ如シ

尺六藍棒 巾一尺六寸 長十五嗎 目方五百十五匁

經糸 十六手(攝津紡績) 二百五十匁 六拾參錢八厘

緯糸 十手(攝津紡績) 二百九十匁 六拾五錢參厘

原料代壹圓貳拾九錢壹厘 賣價壹圓八拾九錢五厘

此内糸線賃貳錢貳厘染賃參錢整經賃壹錢織賃拾貳錢起毛賃拾錢雜費拾貳錢五厘ヲ差  
引キ金貳拾錢ノ利アリ

珍綾 巾二尺 長三十四嗎 目方一貫百二十匁

經糸 二十手(攝津紡績) 五百二十五匁 壹圓七拾貳錢貳厘

緯糸 十二手(攝津紡績) 六百二十匁 壹圓九拾錢九厘

原料代參圓六拾參錢壹厘賣價五圓參拾八錢五厘

此内糸線賃四錢染賃四拾五錢整經費壹錢七厘織賃五拾八錢起毛賃拾八錢仕上賃壹錢  
雜費貳拾錢五厘ヲ差引キ約貳拾七錢ノ利アリ

京都綿ネル會社ノ方法ハ少シク前者ト異ニシテ重ニ捺染ネルノ製作ニ從事シ居レ  
リ原料ハ同社紡績所ノ製造ニ係ル經ニ二十手緯ニ八手ヲ用ユ其製作品一嗎ニ付貳  
拾四錢ナリ之ヲ他ノモノニ比スレバ著シク上等ニシテ殆ンド比較スルコト能ハザ  
ルナリ而シテ同社ノ製品ハ多クハ内地ノ需要ニ供セラレ一部ハ清國ニ輸出セラル



ト雖モ其額甚ダ少ナシ

### 木綿縮

輸出木綿縮ノ製產地ハ朽木縣ヲ主トシ島根山口滋賀縣ヨリ多少ノ産額アリト雖モ其十中ノ八九ハ皆足利佐野附近ノ産出ニアラザルハナシ輸出綿縮ニハ中巾并ビニ二尺巾ノモノアレドモ二尺巾ノモノ多數ヲ占ム清國向ノモノハ尺三、尺八、二尺巾ニシテ價格ノ安直ナルモノヲ主トシ他ノ外國向ノモノハ二尺巾ニテ品物ノ上等ノモノナリ瓦斯糸ニテ製織シタルモノハ歐米印度地方ニ向フモノトス

原料ハ經糸ニ三十二手緯糸ニ二十手ヲ用ユルヲ普通トス細地ニハ經ニ四十手緯ニ三十手瓦斯縮ニハ經ニ八十手緯ニ六十手細地ノモノニテ經ニ百手又ハ百二十手緯ニハ八十手ヲ用ユ而シテ其原糸ハ一タビ精練漂白ノ工ヲ施シ無地又ハ縞ニ染色シタルモノヲ經糸トナシ緯糸ハ左及右ニ強キ撚ヲ施シ之ヲ左撚二杼右撚二杼宛交互ニ打込ミ織成スナリ原料ノ内平糸ハ上等ノモノナレバ鐘紡ノ如キ良好ノモノヲ用ユレドモ普通ノモノハ他ノ内地製紡績ヲ混用ス瓦斯糸ハ細番ハ輸入品ヲ用ヒ其他ハ内地製ヲ用ユレドモ内地製瓦斯糸ハ綿花ノ選擇、混綿ノ方法、撚ノ工合、糸ノ性質等未ダ輸入品ニ及バズ



足利佐野地方ノ縮織業者ハ自己ノ工場ニ多クノ工女ヲ有シテ製織スルモノ無ク皆出機組織ニシテ遠クハ十數里ヲ隔テタル地ニ職工ヲ有シ日々巡回シテ製產品ヲ取纏メ之ヲ仕上シ市日ニ佐野足利ニ持出スモノトス但シ或ル有數ナル機業家ハ横濱ニアル外國商館ニ直接取引ヲナスモノアレドモ普通ハ足利ニアル仲買ノ手ニ集マリテ輸出品トナルモノトス

機業組織前ノ如クナルヲ以テ機屋ハ原料ヲ仕入レ之ヲ漂白染色シ經糸ハ之ヲ整經シテ織工ニ渡シ緯糸トナルベキ糸ハ之ヲ撚屋ニ出シ撚ヲ施サシムルモノナルガ故ニ原料ノ製品トナル迄ハ約一ヶ月ノ日子ヲ經ルモノトス

今瓦斯木綿縮ノ生産費ヲ計算スレバ次ノ如シ

白瓦斯木綿縮 巾二尺 長二十碼 日方 六百匁

經糸 百 番瓦斯糸 二百六十匁 貳圓八拾壹錢七厘

緯糸 八十番瓦斯糸 三百五十匁 貳圓九拾九錢

原料代價五圓八拾錢七厘 賣價九圓八拾錢

此内撚賃參拾參錢織賃壹圓漂白仕上賃七拾錢ヲ差引キ壹圓九拾六錢參厘ノ利アリ

以上三種ノ織物ヲ通觀スルニ其工費ヲ得ルノ點ニ就テハ白木綿ノ如キ單純ニ原糸ヲ直チニ織物トナスモノニ比シテ各々相應ノ工程ヲ經ルモノナルガ故ニ比較的多



クノ工費ヲ吸收スルコトヲ得ベシ綿縮綿ネルハ仕上ニ要スル工費割合ニ多シ販路ノ點ニ就テハ其ニ頗ル廣大ニシテ清國韓國ハ申スニ及バズ遠クハ印度歐米ニ及ビ各々今後大ニ發達スルノ狀勢アリ而シテ之ガ競爭者トシテハ綿ネル最モ多ク浴巾之ニ次グ綿縮ノ如キハ我國ニテモ僅カニ足利地方ニ於テ製出スルノミ他外國ニテハ未ダ其產出ヲ聞カズ三者ノ内最モ趣味ヲ有スルモノハ浴巾ニシテ之ニ紋樣ヲ織出シタルモノ、如キハ極メテ高尚ナリ綿縮モ亦之ヲ半成品トシテ捺染紋樣等ヲ生ゼシムレバ需要益々多カルベシ之ヲ織製スルニ當リ操業ノ最モ容易ナルハ綿ネルナレドモ仕上ノ際起毛ノ工程ハ頗ル熟練ヲ要シ木綿縮ノ織成法ハ二杼交換ナルヲ以テ間々誤謬ヲ生ジ易ク仕上ノ工程ニ於テ縮出シハ大ニ熟練ヲ要スベシ浴巾ハ手織ヲ以テ織成スルニハ輪名ヲ出スニ大ニ熟練ヲ要ス

右ノ如ク觀ジ來ラバ何レノ織物ヲ採ルベキカ殆ンド選擇ニ苦ムガ如クナレドモ余ノ愚考ヲ以テスレバ第一ニ指ヲ木綿縮ニ屈セントス前ニモ記セシガ如ク木綿縮ノ生産地ハ全國僅カニ足利地方ノミ而シテ世界各國未ダ其織製ヲ見ズシカモ足利地方ノ機業組織ハ極メテ幼稚ナル手織ニ屬シ機械的作業ハ僅カニ二挺杼バツタンヲ使用スルノミ其撚糸ノ方法ノ如キ古來ノ八丁ト稱スル機具ヲ襲用ス之ヲシテ機械



的ニ作業セシムレバ其工費ニ於テ少ナクトモ倍加ノ利益ヲ得ベク加フニ品質ヲ優良ニシ安價ニ製造スルヲ得バ其販路ヲ海外諸國ニ求ムル決シテ困難ナルコトニ非ルベシ尙其種類ハ下等ヨリ上等ニ至ルマデ數種ノ階級ニ製作スルヲ得白無地色無地縦縞及横縞ニ作ルヲ得ベク捺染シテ紋樣ヲ染出スモ可ナリ益々研究シテ益々嶄新ナルモノヲ創製スベク之ガ競争者ヲ生ズルモ我ニ一步ノ優先アレバ其競争ニ打勝ツヲ得ベシ販路極メテ廣大ナルヲ以テ如何ニ多數ノ製出ヲ見ルモ亦需要ヲ充タスニ足ラザルベシ其肌觸リシヤリトシタルトコロ以テ溫帶地方暑氣ノ衣料ニ供スベク熱帶地方常時ノ衣服ヲ製スベシ而モ其地質堅牢ナルノ特性ヲ有スル他ニ比ヲ見ザルニ於テオヤ

## 第一、如何ナル組織ヲ以テ經營スベキヤ

次ニ來ルベキ問題ハ如何ナル組織ヲ以テ織製スベキヤニアリ前項ニ於テ織物トシテハ木綿縮最モ利益多キモノナリト斷定ヲ下シタル以上之ヲ織製スルニ當リ第一ノ條件ハ特得ノ織物ヲ作り出スニアリ前ニモ述べタル如ク我國在來ノ綿縮ハ皆手織ナルヲ以テ之ヲ機械機ニ改良シ撚糸ノ方法下拵ノ工程仕上ノ工程ニ改善ヲ加ヘ均一ナル製品ヲ廉價ニ製出スルコトヲ得バ實ニ天下無類ト稱スルモ過言ニ非ルベ



シ之ヲ爲スニハ他ナシ機械的裝置ニ依ルノミ今ヤ我國ノ機業ハ手工ヨリ漸次機械的ニ變化シツ、アリ此時ニ當リ一渴千里ノ勢ヲ以テ總テノ工程ヲ機械的トナシ工費ヲ刪減スルト同時ニ均一ノ製品ヲ製造スルトキハ庶クハ當初ノ目的ヲ達スルコトヲ得ン

機械的組織ヲ用ヒテ木綿縮ヲ經營セントス如何ナル程度如何ナル組織トナスベキヤ次ニ其概算ヲ示サントス

### 木綿縮機械工場設計書

一金五拾萬圓

資本金

内譯

金參拾五萬九千圓

固定資本額

金拾四萬壹千圓

流通資本額

一金參拾五萬九千圓

總設備費

内譯

金貳拾萬六千貳百圓

機械購入据付費

金拾四萬九千八百圓

敷地購入工場家屋建築費



金參千圓

寄宿舎設備費

一金貳拾萬六千貳百圓

機械購入据付費

內譯

金拾萬七千五百圓

力織機 五百臺 一臺二付 二一五圓

金參千八百圓

整經機械 十臺 一臺二付 三八〇圓

金五千六百圓

糊附機械 二臺 一臺二付 二、八〇〇圓

金六千圓

繰返機械 十五臺 一臺二付 四〇〇圓

金七千八百圓

管卷機械 十二臺 一臺二付 六五〇圓

金參百圓

布疊機械 一臺 一臺二付 三〇〇圓

金壹萬圓

擦絲機械 千錘 千錘二付 一〇〇〇〇圓

金千貳百圓

六百挺 一挺二付 二圓

金四千圓

ホビン 五萬個 一萬箇二付 八〇〇圓

金四百圓

管  
貳萬五千個  
一萬個二付  
一六〇圓

金八千圓

シヤフトプーリー調革等一式

金參萬五千圓

ボイラー、エンジン及煙突

金六千圓

染色工場用機械一式

金貳千圓

下拵工場据付機械一式

金六百圓

煮糊裝置

金貳千圓

仕上工場据付機械一式



金參千圓

金千五百圓

金千五百圓

一金拾四萬九千八百圓

內 譯

金五萬四千圓

金貳萬貳千五百圓

金壹萬參千五百圓

金貳千貳百五拾圓

金九千圓

金七百五拾圓

金參萬圓

金壹萬貳千八百圓

金五千圓

一金參千圓

以上設備ノ大要ヲ示シタレバ之ヨリ其收支計算ヲ豫算セントス一ハ瓦斯縮ニヨリ  
一ハ木綿縮ニヨル

收支計算書

(瓦斯織木綿縮ニヨル)

修繕用諸機械一式

工場機械据付諸雜費

諸 雜 費

工場建築敷地購入費

機織工場千二百坪 坪四五圓

準備擦糸工場五百坪 坪四五圓

染色仕上工場三百坪 坪四五圓

ボイラーエンゲン室五十坪 坪四五圓

倉庫 三百坪 坪三〇圓

事務室三十坪 坪二五圓

敷地六千坪 坪五圓

寄宿舍八百坪 坪一六圓

門塀便所其他

寄宿舍設備費



收入ノ部

一金百六拾五萬壹千圓

總收入高

内譯

金百六拾五萬圓

製產品賣上高

但シ木綿縮一日機壠一壠ニ付一反ナ織ルトシ三百三十日五百壠積算一反ノ賣價拾圓トス

金壹千圓

屑糸等賣却代

支出ノ部

一金百七萬九千四百八拾貳圓四拾八錢

内譯

金四拾六萬四千七百五拾圓

經糸原料費

木綿縮十六萬五千反ニ對シ一反ノ經糸減共二百六十匁此目方四萬二千九百匁匁一

俵ニ付五百貳拾圓ノ相場トシテノ計算

金四拾九萬參千貳百八拾貳圓四拾八錢

緯糸同上

同上十六萬五千反ニ對シ一反ノ緯糸減共三百五十匁此目方五萬七千七百五十匁匁

一俵ニ付四百拾圓トシテノ計算

金九萬貳千六百圓

職工給及俸給

内

金八萬四千圓

職工費

但職工八百人一日一人ニ付金參拾五錢トシ平均一ケ年三百日トシテノ計算

金六千六百圓

俸給

内

金壹千五百圓

技師長一名 年俸

金壹千圓

技師一名 同上

金八百圓

同 同上

金六百圓

書記一名 同上

金九百六拾圓

技手二名 同上

金四百八拾圓

書記一名 同上

金參百六拾圓

技手二名 同上

金六百圓

書記二名 俸給

金參百圓

小使二名 同

金貳千圓

重役報酬

金壹萬六千五百圓

石炭費

一日十三時間石炭一萬斤一ケ年三百三十日此斤數三百三十萬斤一萬斤ニ付五拾圓

トシテノ積算

金壹萬貳千參百五拾圓

營業用消耗費

内

金八百圓

機械油類



金參百圓  
金參百圓  
金五百圓  
金五拾圓  
金參百圓  
金參千圓  
金八百圓  
金壹千貳百圓  
金六百圓  
金五百圓  
金壹千五百圓  
金五百圓  
金貳千圓

杉  
ヒツカ  
調革類  
木管  
篋  
糊料并染料  
修繕諸費  
諸稅諸掛  
通信運搬費  
庶務消耗品費  
電燈電話水道費  
雜費  
火災保險料(四十萬圓千分の五)

差引五拾七萬壹千五百拾七圓五拾貳錢

總利益金

以上ハ元ヨリ各機關總テ整頓シ製作品ハ極メテ上等ナル瓦斯縮ニ於ケル收支決算  
ナリ此計算ニ依レバ年十一割四分餘トナル

## 收支計算書 (木綿縮並等品)

收入ノ部

一金七拾四萬參千圓

總收入金

内譯

金七拾四萬貳千五百圓

製產品賣上高

但シ木綿縮一日一反を織ルトシ機臺五百臺三百三十日此反數十六萬五千反 一反  
ニ付キ四圓五拾錢の賣價トシテノ計算

金五百圓

屑絲等賣却代

支出ノ部

一金四拾萬五千百參拾壹圓貳拾四錢

内譯

金拾五萬四千七百六拾圓四拾壹錢

經糸原料代

木綿縮十六萬五千反一反の緯糸減共二百七十匁此目方四萬四千五百五十匁  
俵に付百六拾六圓

金拾貳萬八千九百貳拾圓八拾參錢

緯糸原料代

木綿縮十六萬五千反一反の緯糸減共三百匁此目方四萬九千五百匁 一俵に付百  
貳拾五圓

金九萬貳千六百圓

職工給并諸俸給

内

金八萬四千圓

職工費

金六千六百圓

俸給

金貳千圓

報酬



金壹萬六千五百圓

石炭代

金壹萬貳千參百五拾圓

營業用消耗品

差引金參拾參萬七千八百六拾八圓七拾六錢

右ノ計算ニ依レバ六割七分五厘餘ノ利益トナル勿論此計算ヲ以テ終始ノ場合ヲ想像スルコト能ハズ如何ニ工場内外ノ各機關整頓スルモ工女ノ習熟完全スルモ冗費ヲ節減スルモ一反ノ疵物ヲ生ゼザルコト難ク壹錢ノ冗費ナキハ期ス可ラズ即チ此計算ヨリ數割ヲ減ジタルモノ多クノ普通ノ場合ノ收支ナルベシ

### 第三、事業ヲ經營ニ當リ如何ナル方法ヲ取ルベキヤ

前ノ如ク工場經營ノ方法確定シタル後次ニ來ルベキ問題ハ如何ナル方法ニヨリ之ヲ維持スベキヤニアリ以下愚案數條ヲ掲ゲン

一、確然タル商標ヲ定メ此商標ヲ以テ販路ヲ擴張スルコト

二、善良ナル原料ヲ用ヒ善良ナル織物ヲ製作シ生産費ヲナルベク節約シ安價ニ賣出スコト

三、輸出先ノ狀況ハ常ニ注意ヲ怠ラザランコトヲ期シ時々視察員ヲ派スルコト  
四、創業後兩三年ハ最モ困難ノ場合ニ遭遇シ易シカ、ル場合ニ於テ不撓不屈以

テ之ニ抗スベキコト

五、工女ヲ單ニ機械的ニ使用セズシテ多少教育アル思想ノ高キモノトナシ他日事業擴張ノ準備ヲナスコト

六、自家製造ノ織物ニ就キテハ申ス迄モナク他ノ織物等ニ就キテモ研究ヲ怠ラズ常ニ進歩ノ狀況ヲ維持スルコト

七、第二期擴張トシテ綿紡績機械ヲ据付クルコト

八、第三期擴張トシテ捺染工場ヲ新設スルコト

此等ノ各項ハ一々説明ヲ附スルノ必要ナカルベケレドモ其最後ノ三項ニ就キ少シク述ブルトコロアラントス

抑モ此ノ如キ事業ヲ經營スルニ當リ終始一日モ等閑ニ附ス可ラザルモノハ事業ノ進歩ヲ圖ルニアリ事業ニシテ進歩セザレバ後進ノモノ却テ先進ヲ凌グニ至ルベク競争場裏ニ劣敗ノ位地ニ立ツノ止ムヲ得ザルニ至ラン進歩ヲ圖ルハ研究ヲ怠ルベカラズ營々トシテ事業ヲ劃策スルノ間ニ綽々トシテ研究ヲナスノ餘裕アルヲ要ス第六項ニ言フトコロ即チ之ナリ

第七第八項ノ擴張案ハ斯業ヲ開始スルニ當リ豫メ之ヲ爲スノ覺悟アルヲ要ス織物<sup>◎</sup>



ヲシテ特色ヲ發揮セシムル最良方法ハ自ラ紡績シタル原糸ヲ用フルニアリ紡績部  
ヲ自己ノ工場ニ有スレバ欲スル所ノ原料ヲ得ベク他ヨリ模倣セラル、コトナカル  
ベク工費ノ幾分ヲ節減スルヲ得ベシ加フルニ紡績所ニ於ケル利益ヲ併セ獲ルコト  
ヲ得ベシ捺染工場ヲ併置スルノ利ハ自己ノ製品ヲ半成品トシテ使用スルモノナル  
ヲ以テ一ハ製品ノ販路ヲ増スヲ得ベク捺染ニヨリテ工費ノ多分ヲ吸收スルヲ得ベ  
シ

以上視察ノ報告ヲ終ルニ臨ミカ、ル粗笨ノ報告布袋組諸員ノ意ヲ滿タス能ハザリ  
シヲ謝ス

前伊勢崎織物學校教諭

明治三十九年七月中浣

新井 鋭 太 郎





SMITHSONIAN INSTITUTION

2348.



2348.





SMITHSONIAN LIBRARIES



3 9088 01786 4448